

Road to 『大阪都』 設計図が完成すれば都構想の全てが分かる!

大阪の未来、「このままでいい」のか、「設計図を見てから決める」のか?

大阪都構想は大阪市民の**住民投票**で決まります。府・市を再編する『大阪都』の姿を示す設計図(=説明書)をつくる場が「法定協議会」です。私たちはこの法定協議会を正常に機能させて設計図づくりを推進します!

○大阪都構想の実現まで階段は**残り3段**です。

◆ステップ1「設計図完成」

・4つの区割り案から、議論の対象を最も合理的と考えられる1つの案に絞り込み、さらに議論を深めて夏頃に完成。(4案で議論を続ければ完成に5年も10年もかかる。)

◆ステップ2「議会承認」

・大阪府議会及び大阪市議会で承認を求めます。

◆ステップ3「住民投票」

・議会が承認した設計図に対して、大阪市民の皆様の判断を仰ぎます。



ここが肝やで!! 都構想 ~「もうかりませ!!」といえるワケ~

その2 「住む人」・「訪れる人」のいずれにも魅力ある街に ~「グランドデザイン・大阪」の推進~

- ①新たな交通や街づくりなどのインフラを、広域で一元的に実行。
- ②創造的な人材を集め、新しい産業を生み出す基盤づくり。
- ③民間が出来ることは民間へ。生まれた収益を新たな投資へと活用。

※「グランドデザイン・大阪」を強力に推し進めるには、思い切った広域戦略が必要です。そのために、知事・市長それぞれが戦略を立てるのではなく、指揮官をひとりにして「スピード感」と「決断力」をもって実行できる仕組みをつくります。

- ◎大阪に住む人⇒より便利な交通・快適な都市空間・安全な災害対策!
- ◎大阪で働く人・学ぶ人⇒多様な「人材の交流」「情報の集積」と「大きな市場」を活かす!
- ◎大阪を訪れる人⇒「みどり」と「水辺」あふれる街並みで歴史・文化や「食」を満喫!

★大阪のポテンシャルやストックを活かし、「住みたい」「働きたい」「楽しみたい」と誰もが思う、世界に誇れる「価値ある」街に! つまり「かせげる都市」大阪に!



府議団、改革の「軌跡」第2回

議員報酬を30%カットし、全国最低額に!

平成23年2月定例会で、議員報酬を30%削減させ、自ら身を切る改革を実行しました。これにより、大阪府議会議員の報酬は、全国の都道府県議会議員で最も低く、その削減幅は全国最大となりました。議員報酬の削減を巡っては、私たちが先行して「30%カット」を提案し、その成立に向け主導した結果、平成23年度から実施することになりました。現在もこの削減は続いています。

主要議会の状況 H26.2.1.現在

議会名	削減幅	報酬月額(万円)
大阪府	30%	93 ⇒ 65.1
東京都	3,000円	102.5⇒102.2
京都府	0%	96
大阪市	20%	97 ⇒ 77.6
横浜市	10%	95.3⇒ 85.7
堺市	5%	78 ⇒ 74.1